

1位	1289時間	22日
2位	1040	29
3位	1000	25
4位	750	24
5位	740	26
6位	723	14
7位	690	26
8位	545	25
9位	460	25
10位	450	26
11位	435	20
12位	431	20
13位	320	26
14位	250	12
15位	240	8
16位	227	22
17位	195	12
18位	185	10
19位	150	10

20位	100	5
21位	30	3

今月の覇者

☆バスティンパーティーC

まるは「、」

レッスンでは、教本の曲が正しく演奏できたときに、合格の印として「まる」をつけます。さて「まる」をもらったあと、その曲を弾く意味はあるのでしょうか？

ピアノを演奏するという動きの中には、同時に考えなければいけない要素が山のように含まれます。

鍵盤の位置、五線譜の読譜、指の形、指番号、強弱……。初級者向けの教本で学習している時に、そのすべてのことを完璧にクリアできるまで先に進まないという考えです。すると、その先に待っている更に多様な曲に出会う機会が減ってしまいます。

スタジオのレッスンでは、今一番優先すべき課題は何かということを考えて句点「。」の意味ではなく読点「、」の意味で一曲ごとに「まる」をつけています。

「ミスタッチなく弾けた！」「伴奏音源に完全に合わせて弾けた！」それは教える側にとっても、演奏されたご本人にとっても、そして見守るご家族の方にとっても嬉しいことです。

その一方で、ミスタッチはあったけど、音源と合わなかったけれど、とても気持ち良く自分の心のままに演奏ができたと感じた経験はどなたにもあるかと思います。

ご自身にとっての大切な一曲にじっくりと時間をかけて向き合う機会として、ぜひ「ちょこちょこステージ」「演奏倶楽部コンサート」

「PGK ピアノ演奏グレード」などの舞台演奏の場をご活用頂けると幸いです。古今東西の多くの名演奏家に倣って、同じ曲を何回も舞台上で演奏することも、上達への近道です。